

左官工法用断面補修材

アーマ #100P

概要

一般名称	ポリマーセメントモルタル
形態	プレミックスモルタル
主成分	ポルトランドセメント、 骨材、混和材料、 繊維、粉末樹脂（アクリル系）
粉体の密度	約 2.7g/cm ³
荷姿	20kg/袋

特長

- ①水と練り混ぜるだけで、使用できます。
- ②10～30mmのコテ塗りが可能で、仕上げも容易です。
- ③躯体コンクリートとの接着性に優れています。
- ④ひび割れや剥離に対し十分な抵抗性を発揮します。
- ⑤水密性、遮塩性に優れています。
- ⑥中性化を抑制します。
- ⑦凍結融解抵抗性に優れています。
- ⑧強度発現性が良好で、耐久性、耐候性に優れています。
- ⑨東・中・西日本高速道路(株)構造物施工要領品質規格適合品です。
- ⑩東京港埠頭(株)品質規格適合品です。

用途

- ・コンクリート躯体欠損部の断面修復
- ・コンクリート表面の被覆

標準配合

標準配合（水 / #100P = 16.5% の場合）

（空気量：約 4%）

	水 / #100P	#100P	水	練上り量
1袋当り	16.5%	1袋 (20kg)	3.3kg	約 11.1 ^{リットル}
1m ³ 当り		90袋 (1800kg)	297kg	1000 ^{リットル}

注) 水 / #100P = 16.5% (#100P : 水 = 20kg : 3.3kg) を標準としますが、適度な施工性が得られるように、
水 / #100P を 15.5% ~ 17.5% (#100P : 水 = 20kg : 3.1kg ~ 3.5kg) の範囲で調整してください。

性能

各種性能一覧（標準配合、20℃環境下での試験結果です。）

測定項目		試験値	試験方法
単位容積質量 (kg/ℓ)		2.10	JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」 6.3 単位容積質量試験に準拠
流動性（フロー値）		168	JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」 6.1 フロー試験に準拠（落下運動 15 回）
曲げ強さ (N/mm ²)	材齢 3d	7.2	JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」 7.2 曲げ強さ及び圧縮強さ試験に準拠 (供試体寸法：4 × 4 × 16cm)
	材齢 7d	7.8	
	材齢 28d	9.4	
圧縮強さ (N/mm ²)	材齢 3d	34.0	JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」 7.2 曲げ強さ及び圧縮強さ試験に準拠 (供試体寸法：4 × 4 × 16cm)
	材齢 7d	42.0	
	材齢 28d	51.0	
静弾性係数 (N/mm ²)	材齢 7d	18200	JIS A 1149「コンクリートの静弾性係数試験方法」 に準拠（供試体寸法：φ 5-10cm）
	材齢 28d	20400	
接着強度 (N/mm ²)	材齢 7d	1.7	JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」 7.3 接着強さ試験に準拠
	材齢 28d	2.2	
	耐アルカリ性試験後	2.2	JHS 416「断面修復材料品質規格試験方法」 3.7 コンクリートとの付着性試験に準拠
	温冷繰り返し試験後	1.8	
	凍結融解試験後	1.5	JHS 432「断面修復用吹付けモルタルの試験方法」 5.2 引張接着性試験に準拠
	乾湿繰り返し試験後	2.2	
吸水率（％）		3.8	JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」 7.4 吸水率試験に準拠
透水量（g）		4.6	JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」 7.5 透水量試験に準拠
熱膨張係数（× 10 ⁻⁵ /℃）		1.08	JHS 416「断面修復材料品質規格試験方法」 3.6 熱膨張性試験方法に準拠
長さ変化率 (硬化収縮率)	保存 4 週	-4.8 × 10 ⁻⁴ (0.048%)	JIS A 1129「モルタル及びコンクリートの長さ変化率試験方法」 に準拠（供試体寸法：4 × 4 × 16cm）
ひび割れ抵抗性		ひび割れなし	JHS 432「断面修復用吹付けモルタルの試験方法」 5.1 ひび割れ抵抗性試験に準拠
中性化速度係数 (mm/√週)		0.036	JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」 7.7 中性化深さ試験に準拠
塩化物の見掛けの拡散係数 (cm ² /年)		0.44	JSCE-G572「浸漬によるコンクリート中の塩化物イオンの見 掛けの拡散係数試験方法」(案)に準拠
凍結融解に対する抵抗性 (耐久性指数)		90.8	JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」 7.10 凍結融解に対する抵抗性試験に準拠（300 サイクル）

注）試験は試験室内で行っているため、条件により性能が多少変化することがあります。

⚠ 練混ぜ

- 練混ぜ水には水道水またはこれに準ずる水を使用してください。
- 攪拌装置は練混ぜ性能の良いミキサを使用してください。
- 練混ぜ時間は3分間を標準とします。ただし、ミキサの性能及び季節によって異なりますので事前に確認してください。
- モルタルは練混ぜ時の粘性が大きいため、ミキサの選定にあたっては、全層にわたり攪拌するタイプを選定してください。
- 練混ぜ完了後は速やかに作業を行ってください。練混ぜ後、長時間放置しますと物性が変化し、所定の性能が得られないことがあります。
- ポリマーを製品中に内添しているため、練混ぜが不足すると、ポリマーが十分に溶解しないために所定の性能を発揮しない場合があります。

⚠ 使用上の注意

- 材料は高温多湿な所を避けて、冷暗所に保管してください。
- 開封した材料は使いきるようにしてください。破袋した物や開封した状態で放置されていたものは使用しないでください。
- 取扱いの際は保護手袋、保護マスク、防塵眼鏡などを着用し、皮膚に付けたり、鼻や口に入れないようご注意ください。
- 子供には触れさせないようご注意ください。
- 本製品は水や汗・涙等の水分と接触すると強いアルカリ性になり、皮膚・目・呼吸器等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。
- 目に入れないようご注意ください。万一入った場合は直ちに良く洗浄し、専門医の診察を受けてください。
- 本製品および空袋を廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。自然界への投棄は絶対にしないでください。

 **UBE三菱セメント株式会社**
MUCC Mitsubishi UBE Cement Corporation

関連事業部 建材鉱産品部 高性能製品グループ

〒100-8521 東京都千代田区内幸町二丁目1番1号 飯野ビルディング13階
TEL 03-6275-0359 FAX 03-6275-0386

<https://www.mu-cc.com/>

お問い合わせ、ご用命は、

※ここに記載された事項は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データにもとづくものでありますが、多岐にわたる条件下での実際の現場結果を確実に保証するものではありません。

※記載製品に関する性能、仕様、荷姿等は予告無く変更する場合があります。予めご了承ください。